

# 障害者計画策定のための アンケート調査配布先の 変更について

令和4年1月  
障害福祉課

# 変更の概要と目的

- 障害者計画策定のためのアンケート調査（障害者向けアンケート）について、市内障害者の実情やニーズを把握する調査とするため、
  - ①対象者の変更  
特定の条件で対象者を限定せず、無作為抽出とする
  - ②配布数の変更  
障害ごとの配布割合を市内障害者の割合に近い形とする
- 前回、市職員の意識調査となってしまった一般市民向けアンケートについて、不特定多数の市民へ配布する

# (障害者向け) 次回調査の配布案

## 前回調査 (令和元年度実施)

種類	対象者	人数
身体障害	手帳所持者 ※ ②	645
知的障害	手帳所持者 ※	544
精神障害	手帳 + 自立支援受給者証所持者 ※	712
① 難病患者	見舞金受給者 ※	609
子ども	児発通園者	115
	特支 + 特別支援学級通学者 ※	385
障害関係団体	市内団体会員	468

※は対象者の中から無作為抽出

## 次回調査 (令和4年度実施予定)

種類	対象者	人数(案)
身体障害	18歳以上の手帳所持者 ②	1500
知的障害	18歳以上の手帳所持者	400
精神障害	18歳以上の手帳 + 自立支援受給者証所持者	700
難病患者	18歳以上の見舞金受給者	400
子ども	18歳未満の手帳 + 福祉サービス受給者証所持者	500

\*すべて無作為抽出を行う

⇒市内の障害者の状況に合わせる形でアンケートの対象者選定方法及び配布数を変更する

# (障害者向け) 変更の理由① (対象者の変更)

## (1) 子どもの対象者を100%無作為抽出に変更

→児童発達支援センターや特別支援学級への通園・通学者等,  
「特定の条件下にある障害児の意見」 = 「障害児の意見」?

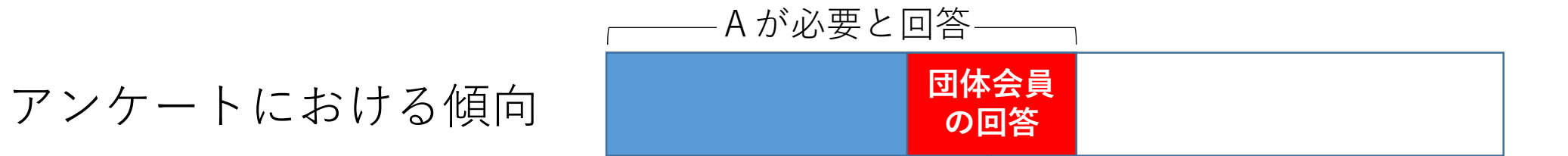
(例) 前回調査における「現在悩んでいることや困っていること」で、  
未就学児では「発育や発達の遅れ」が8割以上  
→未就学児は主に「児童発達センター通園者」なので当然では?

⇒手帳所持者に加え、福祉サービス受給者証所持者を対象として  
無作為抽出することで、特定の条件で対象者を限定しない

※18歳未満の手帳所持者は7割以上が療育手帳所持者のため、  
回答結果は上記と同じ傾向になる可能性あり

# (障害者向け) 変更の理由① (対象者の変更)

(2) 障害関係団体会員を対象者としてのアンケート配布を中止



ヒアリングにおける傾向 「Aが必要！」

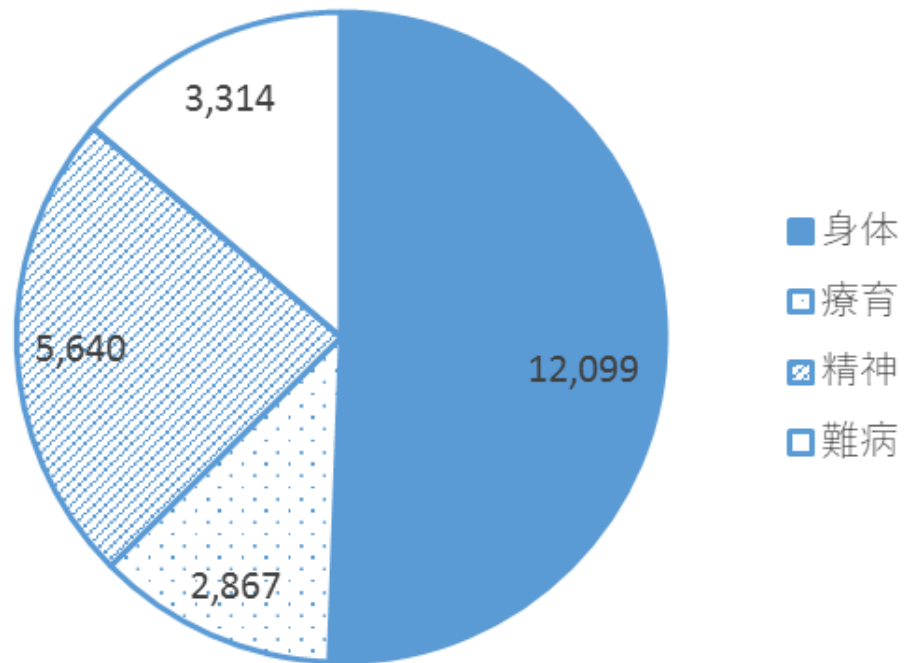
⇒ 「アンケートでも半数が必要」と答えていて、「ヒアリングでもAが必要」だと意見があったから、「Aが必要」？

(参考) 前回調査では配布先の約15%が団体会員

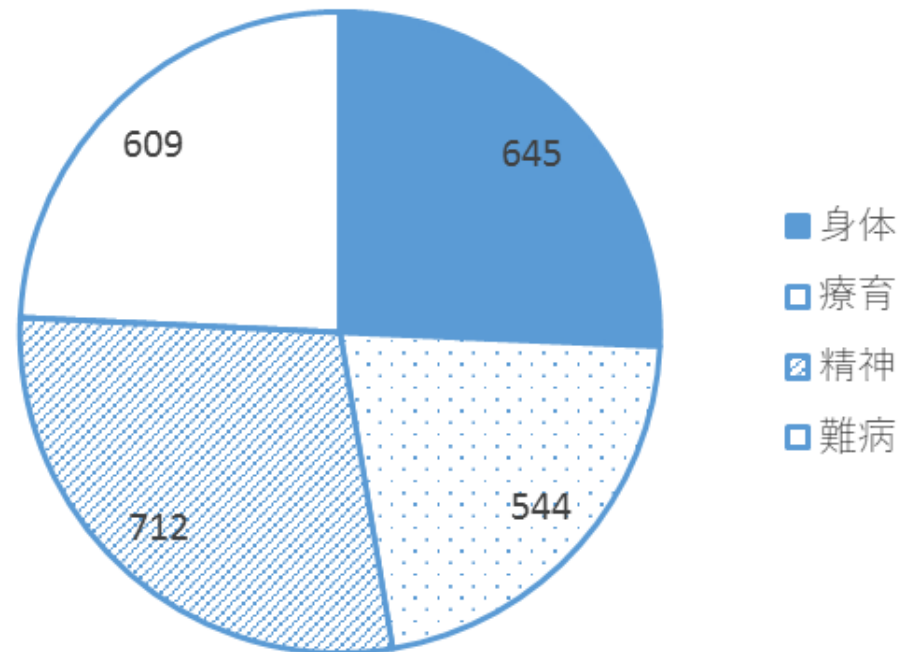
⇒ 客観的なデータとしてアンケート結果を活用するため、障害関係団体会員という条件で限定せず、アンケートの対象者は無作為抽出とする  
※結果として団体会員が含まれる可能性あり

# (障害者向け) 変更の理由② (配布数の変更)

## 手帳等所持者数 (令和2年度)



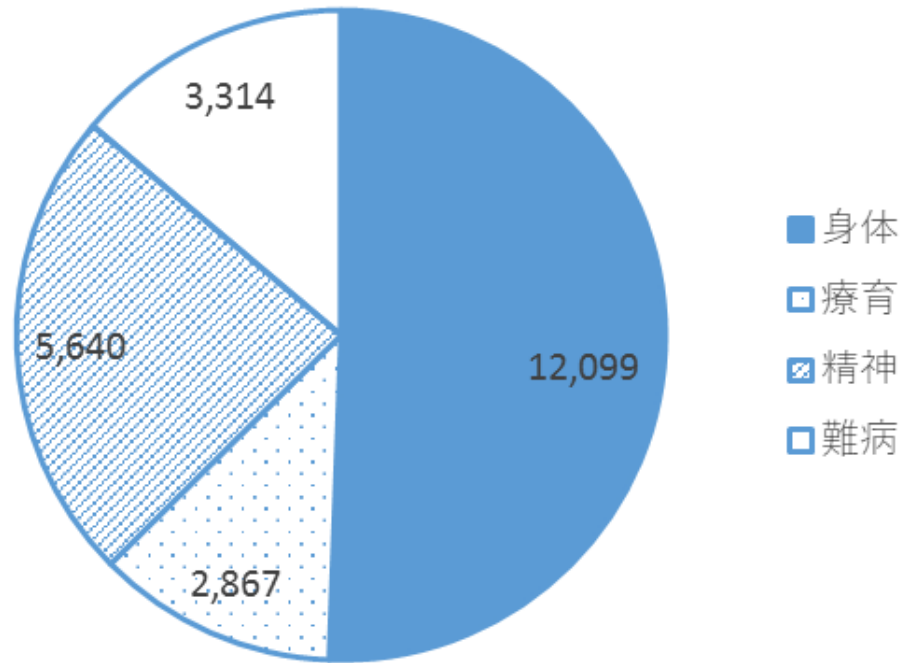
## 前回調査の配布状況



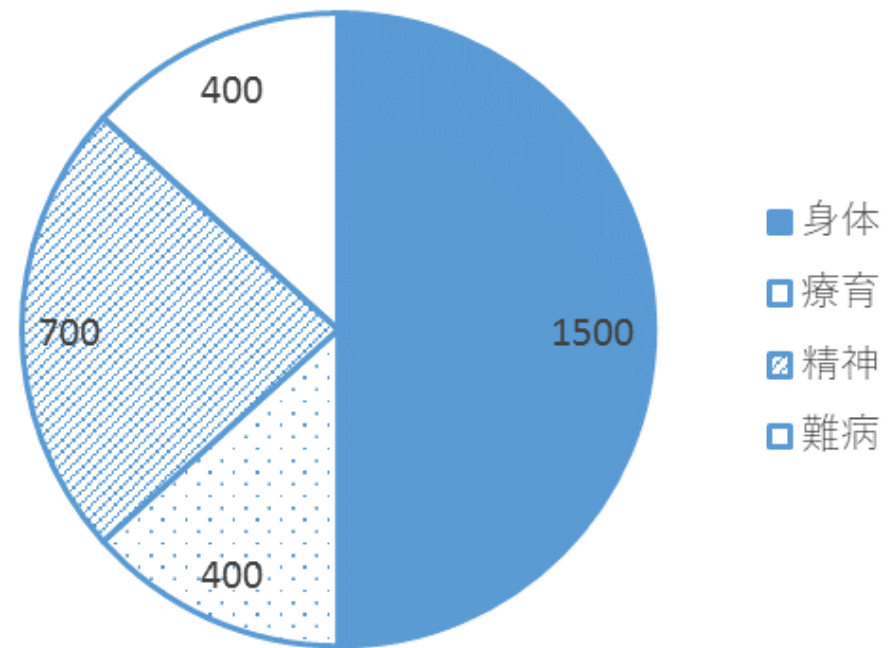
手帳等所持者数の割合と大きく乖離している  
⇒ 調査結果が市内障害者の傾向とは言いづらい状況

# (障害者向け) 変更の理由② (配布数の変更)

## 手帳等所持者数 (令和2年度)



## 次回調査の配布案



手帳等所持者数の割合に近づけることで、市内障害者の傾向を掴みやすくする  
※身体障害者手帳所持者について、障害別の人数を反映させるかは要検討

# (一般市民向け) アンケートの実施について

前回調査時、結果として柏市職員の意識調査になった一般市民向けアンケートについて、障害者向けアンケート同様、紙媒体での配布を行う。

## (調査概要 (予定) )

- 目的：一般の方の障害福祉に関する意識を把握する (前回同様)
- 対象者：障害者向け調査対象者に該当しない18歳以上の市民
- 配布数：1,000部
- 設問等：15問程度 (前回調査では13問)
- 参考：前回調査では柏市職員1,339名が回答，一般市民の回答なし



# (参考) 近隣市のアンケート調査状況

市町村名	配布数	障害者向けアンケート対象者				一般市民向けアンケート	その他アンケート
		手帳	福サ	難病	その他		
松戸	成人:1500 児童:500	○	○	○	自立支援（精神） 受給者	○ (1000)	指定サービス事業所（214），同 運営法人（167）
我孫子	1000	○					
船橋	3300	○ (※1)			精神科通院者	○ (400)	施設入所者，GH 入所者（各150）
鎌ヶ谷	2000	○		○			
習志野	878		○		特支在校生，障害 関係団体，身体・ 知的障害者相談員， 民間事業者	○ (※2) (2563)	相談支援事業所 (17)
八千代	成人:1700 児童:200	○					

※1：精神のみ手帳でなく精神科通院者を対象

※2：一般市民でなく市職員を対象